

いわで 議会だより

2018.09

49

JR 岩出駅
いわで IWADE



Contents

- 2 第2回定例会議決結果
- 3 一般質問
- 11 各常任委員会報告
- 13 表紙写真イラスト募集
- 14 特集 岩出への想い
9月議会の開催予定日

作品名：めまぐるしい日々
制作者：県立那賀高等学校
吉川水紀さん
片山歩美さん
中西紗弥香さん
青木楓さん

平成30年第2回定例会議決結果

案 件 名	結果	賛否（○……賛成 ×……反対 —……賛否に加わっていない）										
		公明党議員団		日本共産党議員団		岩出クラブ		郁青クラブ		ネット岩出		
		田畑昭二	玉田隆紀	奥田富代子	市来利恵	増田浩二	福山晴美	梅田哲也	上野耕志	山本重信	松下元	三栖慎太郎
専決処分の承認を求めることについて（岩出市税条例等の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（岩出市都市計画税条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（岩出市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（岩出市国民健康保険税条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成29年度岩出市一般会計補正予算第6号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成29年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算第4号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成29年度岩出市介護保険特別会計補正予算第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（平成29年度岩出市下水道事業特別会計補正予算第4号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市地域防災計画に定める大規模工場等の用途及び規模の基準に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度岩出市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度岩出市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市民プール新築工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（西岡正光氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（藤原正章氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（村中隆子氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（松尾隆氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※案件名は正式議案名ではありません。

◆ 表紙コメント ◆

学生にとって、1日が終わるのは早い。されど、その1日はかけがえのない1日である。
その思いを、空を水平に描くのではなく、円にして時の流れを表現しました。
そんな空に、イチョウや紅葉、普段私たちが見慣れている岩出駅の看板などが吸い込まれていく構成にして、秋の夕暮れに溶け込む日常を描きました。



「いわで議会だより」では、表紙写真・イラストを募集しています。

・・・詳しくは13ページの募集要領をご覧ください。

一般質問

7名の議員が市政を問う

- * 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
- * 内容等については、質問者にお問い合わせください。

福山晴美 議員 4頁

- ◎ 第32回全国健康福祉祭和歌山大会の取り組みについて
- ◎ カローリング競技について

上野耕志 議員 5頁

- ◎ 地震対策、対応について
- ◎ 紀泉台の湧水問題について

奥田富代子 議員 6頁

- ◎ 児童虐待について
- ◎ 発達障害児童支援について
- ◎ 認知症対策について

増田浩二 議員 7頁

- ◎ 子ども議会について
- ◎ 交通安全対策について

市來利恵 議員 8頁

- ◎ 学校・保育所における歯科検診について
- ◎ いきいきと健康に暮らせるまちづくり目指して

田畑昭二 議員 9頁

- ◎ 岩出駅前通りの活性化について
- ◎ 地域包括ケアシステムについて
- ◎ 通学路の安全点検について

尾和弘一 議員 10頁

- ◎ 公文書について
- ◎ 鳥獣駆除について
- ◎ 危機管理について
- ◎ 那賀病院の労働実態について
- ◎ 職場環境・格差について
- ◎ 教育環境の改善について



一般質問の傍聴に
お越しください。

◆一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、事前に岩出市議会ウェブサイトで公表していますので、ご覧ください。



福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

ねんりんピック

和歌山大会

カラーリング競技

平成31年11月9日から12日にかけて、「第32回全国健康福祉祭和歌山大会ねんりんピック紀の国わかやま2019」が開催され、本市では、ペタンク競技が開催される。

質問

①全国健康福祉祭（ねんりんピック）について。
②これまでの市の取り組み。
③どのような運営を想定しているのか。
④今後、どのようにして機運を高めていくのか。

答弁市長

全国の高齢者の方々の交流を深め、高齢者がいつまでも健康で社会参加できる環境づくりを推進していくための大きな契機となる。

答弁 市長公室長

①60歳以上の高齢者を中心としたスポーツや文化種目の交流大会。
ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的とする。

②市長公室内に「ねんりんピック推進室」を設置
スポーツ関係者、福祉・市民団体関係者、経済・観光関係者、医療関係者など36名の参画を得て、実行委員会を設立。

③競技だけではなく、岩出市の魅力発信の場としての活用も検討。

本年11月10日、リハール大会を根来若もの広場で開催予定。
④「あふれる情熱 はじける笑顔」をテーマに、市広報・市ウェブサイト

や、さまざまな機会を通じて積極的にPRを行う。
元気な高齢者が活躍する生涯現役社会の実現、長寿社会の延伸の機運を高める大会になるよう努めていく。



高齢者、障害のある方、小さいお子さん、年齢、性別、体力等に関係なく誰もが一緒に楽しめるスポーツである。
人と人とのつながりが希薄化する中、コミュニケーションづくりにも役立つのではと考える。

質問

①県内の状況と岩出市の認識について。
②今後の方向性について。

答弁 教育部長

①県の協会は設置されていない。
②南海市、市町村単位で協会を設置。

社団法人和歌山県体育協会が「元氣アップ！カラーリング教室」を実施。橋本市・田辺市はスポーツ教室として開催。



新宮市は、中学校の育友会主催で教室を開催。
本市では、これまでその時々流行した高齢者を中心としたニュースポーツを推奨してきた。

②健康づくりや体力増強につながるニュースポーツは、種目の多様化により長続きしない傾向も見られる。
今後、調査研究を進め県内の状況、地域の動向を見ながら調査研究をしていく。



上野 耕志 議員
(岩出クラブ)

危険な ブロック塀について

6月18日に大阪北部地震が発生し、ブロック塀の倒壊、また、家具の転倒等により4名の方が亡くなりました。

質 問

①本市のブロック塀の調査結果、また、危険箇所への対応をどのように考えているのか。
②家具等の転倒防止のための補助事業の啓発、周知についてはどうか。

答 弁 総務部長

①まずは職員の調査により、塀の高さ、厚さ、控え壁の有無、傾きや亀裂の確認を行い、危険と思われる箇所を洗い出した上で、改めて専門家の調査により、それぞれの対応策を検討することとしています。

職員による調査の途中経過では、一カ所、根来小学校の県道に面したブロック塀の高さが基準を超えているとの報告を受けています。全ての調査結果が出そろった段階で、専門家の調査を待つて、

改修や撤去が必要な箇所については、それぞれ対応してまいります。

②家具転倒防止金具等取付補助事業については、2月の岩出市区自治会長

会議をはじめ、市広報、ウェブサイトへの掲載、また、市政懇談会においてもPRする予定としています。

質 問

通学路のブロック塀については、岩出市の補助金も交付しているが、これまでどれくらい活用されているのか。また、国



根来小学校北側のブロック塀

のほうでも補助金を考えていると聞いているが、例えば、岩出市の補助金を増額することになるのか。

答 弁 教育部長

撤去に要する費用に対する補助として、限度額10万円、設置に係る費用に対する補助として、限度額5万円としています。交付状況を年度別に申し上げますと、平成21年度、4件34万円、平成23年度、1件11万7千円、平成25年度、2件17万2千円となっています。

補助金の増額の件については、国の動向を見て検討するということになると考えています。

質 問

紀泉台湧水問題 のその後

昨年紀泉台の湧水箇所に集水枡等を設置していただき、1年以上経過しました。今日までの計測調査結果、また、今後の対応について。

答 弁 事業部長

平成29年6月湧水対策を行い、公園の機能回復をいたしました。週1度職員による計測作業を行っており、湧水量は1日換算して、3.4トン程度の一定水量で推移し、その量は安定しているものと考えられます。今後の対応については、恒久的に湧水の排水を行うとともに、引き続き計測作業を行い、数量についても注視してまいります。



紀泉台パンダ公園の湧水処理設備

虐待から小さな命 守る対策を



奥田 富代子 議員
(公明党議員団)

目黒区では転入して来た被虐待児童の情報を、前居住地の児童相談所から引き継いでいた。それにも関わらず、5歳の女の子が虐待により死亡するという痛ましい事件が起きた。

質 問

① 通告を受けた場合の対応は。

② 他市から転入して来た、被虐待が疑われる児童への対応は。

答 弁 生活福祉部長

① 相談マニュアルに基づき、48時間以内に子どもの安全確認を行っている。
② 電話での概要説明や文書で通告を受け、担当課で、初動対応方針を決定。その後、実務者会議で各機関の役割分担を決め、支援のすき間が無いよう対応している。

質 問

保護者が拒否し、子どもに会えない時の対応は。

答 弁 生活福祉部長

保育所や学校の所属長

に状況確認を依頼したり、担当職員が直接確認。

家庭以外に所属が無い場合は児童相談所に通告し、対応してもらう。児童相談所の専門的知識や技術が必要な場合は要請し、情報共有を欠かさず、対応の遅れが無いよう細心の注意を払っている。

発達障害児童への支援

質 問

① 通級指導教室の設置校と利用状況は。

② 他校へ通う必要のある児童で、保護者が送迎できない場合の支援は。



山崎小学校おひさまサポートルーム（H30年4月開設）

答 弁 教育部長

① H29年度の実績

【中央小学校】

もちのき教室21名

【根来小学校】

根来サポートルーム

18名

H30年4月開設

【山崎小学校】

おひさまサポートルーム

3名

② 送迎支援は行っていない。自主的に通級して頂いている。

質 問

① 各小学校に通級指導教室の設置を。

② 通常学級の先生にも発達障害の研修が必要では。

答 弁 教育部長

① 通級が必要な児童が増えた場合、県教育委員会に設置要望するが、市としては、中学校への設置が優先と考えている。

② 県教育センター学びの丘が実施する特別支援教育の基礎・基本研修を、2年かけて全教員に実施した。

認知症対策について

質 問

2025年、高齢者の5人に1人が認知症とすの予備軍になると言われている。市の取り組みは。

答 弁 生活福祉部長

認知症の方の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける社会の実現を目指し、認知症予防教室や認知症家族の交流会開催、認知症サポーター養成講座・フォローアップ研修の実施。徘徊ネットワーク事業を行っている。



「子ども議会」開催を

今後の検討課題として
開催の意志がないが…

質問

小・中学生が、議会制民主主義を体験的に理解し、政治への関心を深め、岩出市の将来について考え、議会で質問や提案をすることにより、児童に社会参加への態度や意欲をやしなうことができるものであり、多くの自治体が同様の趣旨のもとで開催されている。

同時に、保護者をはじめ



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)



め市民のみなさんに児童の議場での活動を傍聴してもらうことを通じて、市議会や行政の取り組みをより身近に感じてもらうことを目的の中に含めて行われています。

前回の答弁でも岩出市での投票率が低いことや

開催を

市の行政に関心をもってもらう観点からは大切なことだと、開催の必要性を認めています。実行に移せないのはどういう理由で開催されないのか。

答 弁 市 長

政府が児童の権利に関する条約を批准したことで、全国の地方議会で開催されるようになってい

質問

交通安全対策の改善を

①桜台地域の改善

本線道路への交差部の植樹帯の見直し改善を。

カーブミラー設置面でも、同様の危険性の地点で未設置の場所があります。抜本的な改善を。

②総合体育館東側歩道

県道泉佐野岩出線。総合体育館東側地点の歩道部分に段差場所が多数あ

ます。

子どもの権利として生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利が尊重されるべき権利であり、子ども議会開催が、これらの権利を保障することにはならない。児童の権利条約の観点から、かけ離れている。

開催自治体では、勉強の場として行っており、勉強の場として捉まえるならば、少人数で行う子ども議会よりも、学校教育の場においてこそ実現すべきと考えている。

ります。段差解消を。

③川尻市宮住宅北

市宮住宅北側の、山田川沿いにおける安全柵破損部分の早急修理を。

④交通公園東側歩道

狭隘部分傾斜面による転倒防止面での改善を。

答 弁 事業部長

①桜台地域幹線道路は、見通しもよくカーブミラーが必要ない交差点が多



いと認識している。設置要望があり、危険と判断した場合は設置しています。樹木の伐採は、地元自治会から要望があれば伐採します。

②総合体育館東側部分は、隣接者の了承を得て改善を県に要望していきたい。

③防護柵は、事故で破損したもので当事者に修繕するよう伝えています。

④交通公園地点は、現状が精一杯の状況で、隣接住宅や店舗の状況に変更があれば検討します。



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

虫歯急増の陰に 経済格差

生涯を通じた歯と口腔

の健康、さらには全身の健康保持・増進をはかっていくためには、小児期の歯科医療を推進していくことが非常に重要です。

しかし、全国保険医団体連合会が調査した結果、全国の小学校で要歯科受診と診断された子どものうち、歯科未受診は52.1%。中学校では、歯科未受診66.6%という結果が出ています。

質問

①岩出市での未受診の実態はどうか。

②受診をしない理由・原因は何か。

答 井 教育部長

①小学校、未受診54%
中学校、未受診69%



②本人、痛み等の自覚症状がない。

乳歯は、生え変わるものという認識も少なからずあると思われる。

保護者の就業状況もあり、受診させることが難しいということも考えられる。

質問

受診しない理由に、保護者の関心の低さとともに、経済的な理由により受診できない。という現状があると、専門家も指摘している。

市は、子どもに関心を持っていただけるようにと、医療費1割自己負担を強いています。逆にこの制度によって、受診を控える、受診させることが出来ない。こういったことが起こっているのではないか。子どもの健やかな成長を望む上でも、子どもの医療費の無料化は必要ではないか。

答 井 市長

子どもを取り巻く方々に、健康に対する意識を高めていただきたいこと。

また、事業を安定的に運営していくことなど勘案し、現行どおりの制度で推進していく。

健康寿命延伸の取り組み実現へ

データヘルス計画からみる岩出市の実態。

質問

①本市の死因について。

②食塩の取りすぎは、高血圧の原因だけでなく、脳卒中・心臓病や腎臓病など生活習慣病に繋がります。

広島県呉市では、「始めよう！減塩生活」をキヤッチフレーズに食塩摂取1日8グラムを目指しています。市民の意識向



上を進めるため、特定健診に付加した減塩摂取量検査を導入しています。目に見えることで、日頃から塩分に気をつけることができます。市でも導入出来ないか。

答 井 生活福祉部長

①悪性新生物、心疾患、老衰、脳血管疾患、肺炎の順に割合が高く、和歌山県全体とおおむね同じ傾向。

②検討していく余地があると考えている。



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

岩出駅前通りの活性化を



岩出駅前通りの活性化は、今後どうか。

質 問

・2年計画で、JR岩出駅のバリアフリー化に伴う大規模改修がされる。岩出駅も一新され、岩出市の玄関口でもある岩出駅前通りの活性化や観光事業の推進は、今後、どう考えているのか。

地域商工の活性化に努める。

答 弁 事業部長

岩出駅の改修は、駅前

通りの活性化を考えるには、良い機会であり、商業、観光、まちづくりなど、多様な観点から考える必要がある。行政だけでなく、地域住民や、関係者と共に取り組んでいく課題であると認識している。

直近の情報として、岩出駅近くに医院が建設されると聞いています。また、岩出駅の改修は市民のみならず、観光利用者にとっても、市の玄関口として、利便向上が期待できる。駅前の大型観光案内看板のリニューアルや、待合室の現在のパンフレット配架を更にJR西日本と協議の上、配置内容、掲示方法など、観光客の利便性向上のため、よりよいものになるよう努めていきます。

地域包括ケアシステムについて。

質 問

・地域包括支援センターの業務は。

・地域包括支援センターの職員体制は。

・地域包括支援センターの受けた相談件数と内容、その他事業実績は。

今後支援を必要とする方に広く周知。

答 弁 生活福祉部長

・高齢者や、その家族からの相談に総合的に対応する機関であり、介護予防プランの作成、介護予防事業の実施、認知症の方や家族への支援、虐待防止等の権利擁護等です。

・現在の職員は保健師2名、ケアマネージャー5名、事務職1名です。平成29年度の相談件数は延べ97件で、相談内容で一番多かったのは介護に関する事。次に認知症に関する事。続いて、施設入所に関する事。



その他の実績として、認知症サポーター養成講座を7回等様々な講座を実施し、認知症家族の交流会や介護予防事業としても様々な事業に取り組んでいる。今後の取り組みとして、認知症サポーターとしての活動の支援や、国が推進している自立支援型地域ケア個別会議の実施に力を入れ、広報やウェブサイト等で広く市民の方に活用していただくように周知してまいります。

那賀病院に 是正勧告あり



尾和 弘一 議員

質問

那賀病院の長時間労働について、改善する意思があるのか理解に苦しむ。

① 36協定違反の超過勤務・・・その後の経過はどうか。

② 橋本労働基準監督署からの立入指導勧告はどうか。

③ 違反状態をなくすための改善はどうか。

答 弁 生活福祉部長

① 3月議会で労働実態について質問があり病院に伝え、病院からも問題解決に向けて取り組んでいると聞いている。

② 5月9日に監督署からは是正勧告書及び指導票の通知があり、6月1日に改善報告書を那賀病院が提出した。

③ 今後は、橋本労働基準監督署からは是正勧告書に従い、的確に改善されていくと聞いている。

質問

職場のセクハラ・パワハラの基本認識と対策を求める。

答 弁 市長

個人の自覚と尊厳を不当に侵害するだけでなく、職場の周りの人々や環境に悪影響を及ぼす重大な問題である。

ハラスメントを防止するためには、組織目標の共有化を図り、職員が一人丸となって、意欲的に仕事に取り組める職場環境を作り出すことが大事であると考えている。



根来小学校の北側ブロック塀

ブロック塀の安全対策はどうか。

質問

大阪北部地震によりブロック塀が倒壊し、9歳の児童が死亡した。

① 対策はどうか。

② 市内学校周辺、通学路をはじめ、全ての点検をしているのか。

③ 具体的な計画はどうか。

答 弁 総務部長

① 全ての施設と道路に面したブロック塀も含めて、調査の対象としている。

② まず職員により、塀の高さ、厚さ、控え壁の有無、傾きや亀裂等の調査を行い、危険と思われる箇所を洗い出した上で、対応策を検討していく。

③ 全ての調査結果が出そろった段階で、専門家の調査を待ち、改修や撤去が必要な箇所はそれぞれ対応していく。

カワウ駆除で2名が死亡・今後の対策・補償はどうか。

質問

今回の事故に関して、経過と対策、市の要請で実施したのか。責任と賠償問題はどうか。

答 弁 事業部長

岩出橋付近で捕獲作業を実施し、カワウ回収中に事故が発生した。市から依頼したものである。市の法令上責任はない。

答 弁 総務部長

補償保険から死亡200万円の支給となっている。



紀の川、船戸での捜索

総務建設常任委員会

委員長	田中 宏幸
副委員長	梅田 哲也
委員	田畑 昭二
委員	福岡 進二
委員	松下 元
委員	上野 耕志
委員	増田 浩二
委員	尾和 弘一

視察レポート

5月16日

○広島県神石高原町

5月17日

○岡山県倉敷市

神石高原町ふるさと応援寄付金について

この町では、「協働」のまちづくり推進のため、他の団体支援を積極的に行えるよう寄付金の使途に団体支援として「町内の自治振興会」「町内の事務所を置くNPO法人」を指定できるよう条例改正を行い、寄付金は9つの応援メニューから選べるようにしています。

- ①次世代を担う人材育成
- ②子育て・若者定住支援
- ③誰もが尊敬し合えるま



NPO 法人事務所

使 途		H26	H27	H28	H29
(町施策)	件数	67	121	526	479
	金額	1,941	2,482	9,215	10,974
(団体支援) ピースウィンズジャパン	件数	3,770	14,752	19,892	20,702
	金額	76,092	373,870	511,278	545,425
(団体支援) 他の団体(NPO,自治会)	件数	22	88	776	324
	金額	590	8,534	9,680	12,628
合 計	件数	3,859	14,961	21,218	21,506
	金額	78,623	384,886	531,444	569,038

●年度別寄付金推移表

(単位：千円)

所感

神石高原町は、動物愛護に力をいれ、犬の殺処分ゼロを目的に、NPO法人「ピースウィンズ・ジャパン」と協働し、応援寄付金を活用しています。

ふるさと納税制度は、全国的に、返礼品の豪華さ等が過度になりすぎて本来の制度の趣旨が薄れてきているとの批判がありますが、神石高原町での取り組みは、その殺処分ゼロという方針に応援するという、本来の趣旨において、成功している素晴らしい事例だと感じました。

倉敷市観光プログラムについて

白壁の建物や柳並木が美しい美観地区をはじめ、国産のジーンズ発祥の地、工業地帯が美しい水島等、質の高い観光資源が豊富な町です。

新たに観光振興プログラムを策定し、観光振興に向けて、5つの戦略を掲げています。

①魅力を高める観光資源の創出

観光地を持続的に発展させるには、観光客をリピーターにすることが重要で、何度訪れても楽しめる観光地を目指しています。

②都市間連携の推進

県内をはじめ、関西や中四国からアクセスがよく、広域にまたがる観光地を周遊することで遠距離からの誘客につながる取り組みを推進。

③誘致活動の強化

国内外から選ばれた観光地になるには、観光客のニーズや動向等を捉え

たマーケティング戦略が必要。

④受入環境の充実
ハード・ソフト両面での整備。

⑤情報発信の充実

所感

倉敷の美しい街並み、豊富な観光資源。その魅力を、国内外に向けて発信し続けていく重要さを再認識しました。また、何度も訪れたくなるような町づくりに取り組む市民、行政、各種団体の意識の高さを感じました。



厚生文教常任委員会

委員長 三栖慎太郎
副委員長 福山 晴美
委員 吉本 勸曜
委員 井神 慶久
委員 山本 重信
委員 玉田 隆紀
委員 奥田富代子
委員 市来 利恵

視察レポート

5月9日、広島県呉市で「糖尿病性腎症等重症化予防事業」はじめよう減塩生活」、10日に竹原市で、「ICT活用教育の取り組みについて」の先進事例を視察しました。



減塩意識の高い街『呉』

呉市の「糖尿病性腎症等重症化予防事業」はじめよう！減塩生活」は、厚労省主催の、健康寿命をのばそうアワードにおいて、自治体部門優秀賞に選ばれた取り組みです。

チラシは効果なし・・・新たなアイデアとは！

全戸配布されたチラシは、ほとんど見られず、周知効果は、ほぼなし。いろいろな所にポスター

食塩摂取量の見える化体験型で摂取量ダウン

○特定健診に随時尿から1日の食塩摂取量推定検査を市独自に追加し摂取量を「見える化」
○体験教室で、味覚体験による減塩意識付け

学生の意識を刺激！即席麺の塩分印象付け

○即席麺と同濃度の塩水を試飲し、旨み成分がないと塩辛くて、とても飲めないと衝撃！



減塩レシピ集

医療機関などに掲示したポスター

減塩食育で、子ども↓保護者へのルートを

○小中学生保護者世代の減塩に対する意識不足
○教育現場の声を反映した、適塩給食を実現
○児童は毎日の給食が、適切塩分量の味覚体験

筆者所感

ポイントは、
①低めの目標及び数値化
②年代別プログラム設定
③徹底した本気の広報
④できることから始める行動力と企画力

前例を打破するアイデア、チャレンジする行動力は、先進地に共通する強み。是非見習いたいです。

ICTで教育改革『竹原』

竹原市は、ICT活用で、児童生徒の学力向上と、教員の授業力の向上を目指す、教育改革先進市です。

平成21年度文科省事業参画を契機に、本格的な取り組みが始まったそうです。

ICTの弱点を学校・教員の意欲的な提案で少しずつ克服

コンピュータ教育と聞くと、キーボードの十指打ちやプログラミングを想像しがちですが、竹原市では、アナログとデジタルのバランスが良く、便利な道具として活用しています。

模造紙のかわりに

模造紙のグループ発表は、書き手の意見に偏りがちですが、個々がタブレットで作った資料を、電子黒板上に集めるだけなら、それぞれの意見がきちんと反映されます。

問題点を目で確認

逆あがりができない子に、コツを教えるのは、本当に難しいですね。でも、できる子の動画と、できない子の動画を並べて見せれば、違いが一目瞭然。

弱点を耳で確認

音読を録音して、後で聞き直す、客観的な自己評価は、伸びる原動力。

筆者所感

アナログとデジタルのバランスを取り、現場の補完ツールとして、活用するなら、今すぐ導入すべきと強く感じました。





「いわで議会だより」の 表紙写真、 イラスト等を募集

岩出市議会では、年4回（3月、6月、9月、12月）発行している「いわで議会だより」の表紙（A4縦）に、皆様から応募いただいた写真、イラストを掲載します。

たくさんのご応募を
心からお待ちしております。
詳細は、次のとおりです。



募 集 要 領

1. 受付期日

- 12月号…… 9月20日まで
- 3月号…… 12月20日まで
- 6月号…… 3月20日まで
- 9月号…… 6月20日まで

＊但し、期日が土曜日、日曜日、祝日の場合は、翌開庁日です。

2. 募集内容

岩出市内の「四季の風景」「催し物・イベント」「街並み」等岩出市の魅力をアピールできるような写真、イラスト等の作品

3. 応募条件

- ①岩出市内で応募者自身が撮影または描いた未発表のオリジナル作品です。
- ②作品は、カラー（A4縦）とします。
- ③人物が特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。
- ④提出された作品の著作権は、岩出市議会に帰属されるものとします。
（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）
- ⑤提出された作品は、返還いたしません。
- ⑥応募者は、市内在住者又は市内に勤務・通学されている方に限ります。
- ⑦採用された方には、掲載が決定後、連絡を行います。

4. 選 考

岩出市議会広報常任委員会が選考します。

5. 紙面への掲載

- ①紙面へは、カラーで、氏名、学校名及び撮影場所等を掲載します。
- ②岩出市議会広報常任委員会で作品のトリミング等を行う場合がありますので、ご了承ください。

6. 応募方法

撮影者、製作者の住所・氏名・電話番号・作品名・撮影場所・撮影年月日等をご記入の上、次の宛先までご応募ください。

なお、応募に係る費用は、応募者の負担でお願いします。

7. 応 募 先

（郵送の場合）

〒649-6292 岩出市西野 209 番地
岩出市議会広報常任委員会 宛

（メールの場合）

E mail : gikai@city.iwade.lg.jp

8. その他

採用された方には、粗品を進呈します。

9. 問い合わせ先

岩出市議会事務局

電 話 : 0736-61-6947（直通）

F A X : 0736-61-6946

特集

小中学生から 岩出への想い



根来小学校 六年 土岐陸翔さん
「僕達の住む岩出市」

岩出市は、根来山や紀の川など自然が多く、道が広く良くなり、建物も増えています。僕はそんな岩出市が好きです。岩出市には小学校が六校あるので、他校とも交流できる行事が増えたりいいなと思います。そして、あいさつを増やして、地域の人達とふれあう交流を深めて、子供から高齢者まで安全で楽しい岩出市にしていきたいなと思います。



山崎北小学校 六年 石倉日菜さん

「岩出はどんなところ？」を尋ねられたら、「春には根来寺の桜が辺り一面ピンク色にそまります。夏の前には、田んぼから一斉にカエルの鳴き声で、とても楽しい気分になります。秋には、リーコリーコとたくさんの虫の声が聞こえてきます。冬は空を見上げると、星がとてもきれいに光っています。私は四季を感じる自然豊かな岩出が大好きです。」と胸を張って答えます。

★第3回定例会（9月）の本会議開催予定日は、次のとおりです。ぜひ、傍聴にお越しください。

●第3回定例会（9月議会）日程

8月31日（金）行政報告・議案説明

9月 6日（木）質疑・委員会付託

14日（金） 討論・採決

19日（水） 一般質問

20日（木） 一般質問

いわで議会だより平成30年6月号（2018年48号）11ページの問合せ先電話番号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正：電話番号 0736 - 61 - 6947

岩出市議会ウェブサイト

<http://www.city.iwade.lg.jp/gikai/>

※携帯電話・スマートフォンなどのバーコードリーダーで読み取ると、議会ウェブサイトにアクセスできます。



QRコード

議会広報常任委員会

（委員長） 山本 重信 （副委員長） 市来 利恵

（委員） 福山 晴美 福岡 進二 田中 宏幸 三栖慎太郎 奥田富代子 尾和 弘一